

## 「出会いこそ、生きる力」PTA 講演会を終えて思うこと



10月4日に、多くの方々からご協力を頂き、PTA 講演会を開催することが出来ました。講師のサヘル・ローズさんは、戦争のさなかに生まれ、更にはいじめなど壮絶な経験から得た思いを、これからの未来を生きる一人一人の生徒に向けて、時には目に涙を浮かべながら、強く訴えかけてくださいました。「つらいときに出会った心温かな人たちがいてくれたからこそ今の自分がある」「相手のことを大切にするためにも、まずは自分のことを大切にしてほしい」「身近なことだけでなく、世界で起きていることに目を向けてほしい」「様々な出来事を一面的に見るのではなく、立場を変えるなど様々な面から捉えるようにしてほしい」。そして、「知識は決して裏切る

ことはない。学ぶことは必ずあなたの人生の役に立つ」。生徒からの質問に答えるかたちで、生徒と対話する場面もありましたが、生徒一人一人を大切に丁寧に受け答えされる姿がとても印象的でした。

先月の学校便りでもお伝えしましたが、頸城中学校では、将来の夢や目標を持っている生徒が少ないことや家庭学習の時間が少ないことが課題として挙がっています。私は、学ぶことが楽しいと感じるような授業を実践していくこととあわせて、将来の夢や目標に向かって、自らの学びを進めていく力の育成が大切だと考えます。このような講師を招いての講演会も自分の生き方を考える大切な機会のひとつです。自分の将来に向けて、自分の足でしっかり歩いていくことが出来るよう、様々な講師の方々とお会いする取組を進めていきたいと考えています。

## 第2回 学校運営協議会(9月27日)

5限の学習の様子を参観していただき、その後、「教育活動の近況報告」「前期学校評価結果」をもとに熟議を行いました。委員の皆様から上がった主な意見や感想です。

- 「くびきの祭典」では、生徒の活躍する場面を見ることができた。地域での活動に、保護者の皆さんからも理解と協力をしてほしい。
- 地域での生徒の「あいさつ」が素晴らしい。各小学校に出向いての「あいさつ運動」での取組も、継続して行ってほしい。
- 部活動での活躍は素晴らしい。特に吹奏楽部の西関東大会への進出は、地域として支援してきた経緯があるので大変喜ばしい。
- 子どもたちのメディアに接する時間や生活習慣については、学校と家庭で協力して改善を進めて行ってほしい。



その他、落ち着いた授業の様子、部活動地域移行への対応、学力向上対策など多岐にわたる意見交換を行いました。

# 頸城中生徒の活躍

## ◆よさこい部（9/15）

「にいがた総おどり」新潟市の駅南会場など4会場で、よさこい部の演舞を披露しました。秋雨の中、雨に降られながらの演舞となりましたが、たくさんの観客から応援されながら元気な姿を見ていただくことができました。



## ◆新人各種大会（9/19,10/3）

陸上部 大会中止

バレーボール部

対直江津中・春日中 勝利 対柿崎中 惜敗

ソフトテニス部

予選 対吉川中 勝利 対直江津中 惜敗

決勝 対糸魚川中 惜敗

卓球部

団体 対大潟町中 3-2 勝利

対城西中 0-3 惜敗

個人 1年女子 米山さん 優勝

野球部

対八千浦中・直江津中・潮陵中・名立中 1-3 惜敗

対糸魚川東中・能生中 4-5 惜敗



## ◆上越地区中学校駅伝競走大会（10/10）

男子17位

## 第2回 後援会役員会（10月13日）

後援会役員の皆様から5限の学習の様子を参観していただき、その後、会務の中間報告や前期学校評価結果の説明、近況報告、情報交換等を行いました。地域の皆様からお預かりしております「後援会費」について中間報告をさせていただきました。今年度は特に部活動での活躍が目立ち、遠征費について当初の予算を超えてしまう決算報告になることを、あらかじめ了承いただきました。生徒の活躍は喜ばしいことなので、予期せぬ機会に備えて積立を行ってはどうか、との意見もいただきました。執行状況についてチェックしていただき、併せて、生徒の活動に役立っているかについても精査いただきました。

**上越市教育の日について** 市民が日頃から教育について考え、積極的に参加するためのシンボルとして、11月1日を「上越市教育の日」とするとともに、教育の日の趣旨にふさわしい活動を重点的に実施する期間として、11月を「上越市教育を考える市民の月間」として位置づけられています。頸城区・上越市でも様々な活動が計画されています。生徒の活動について、学校だよりで紹介していきます。